

## (1) 仮設園舎施設整備関係

## ①園庭・遊具

要望	可否	内容
園庭に日影をつくる(熱中症対策)	○	仮設園舎期間は1年であることと費用の面で、現在のように樹木で日陰を作ることは出来ません。ただし、日陰がないと熱中症などの危険性が高い場所(プール及び砂場)についてはロープで布等を張るなどの工夫をすることにします。また、熱中症が心配な夏期間については、現在も、午前中はプール、午後はその日の気温等状況を見ながら園庭や保育室で保育をしています。その他、園庭で遊ぶ時間や水分補給等に配慮しながら園庭遊びを行います。
園庭を芝生にする	×	仮設園舎期間は1年のため、不可能です。
畑をつくる	×	仮設園舎期間は1年のため、不可能です。プランター等で栽培できる植物を育て、食育活動に生かす等の工夫で対応します。
プール	○	設置します。
大型遊具等(すべり台・ジャングルジム・鉄棒・うんてい・砂場)	○	とよだ保育園で使用中の遊具は劣化が激しく移設することは困難です。現在設置されている全ての遊具を仮設園舎に設置することは費用的に難しいため、保育士の意向を取り入れ、子どもたちの遊びの幅を広げ、発達を促すために必要な、以下の遊具を設置します。 ・鉄棒 ・すべり台(乳児用) ・砂場 ・タイヤ(とよだ保育園から移設)
サッカーゴール	○	現在、とよだ保育園で使用しているものを移設します。
ハウス	○	現在、とよだ保育園で使用しているものを移設します。
フェンスの設置	○	保育園の敷地周囲を高さ150cmのフェンスで囲みます。

## ②園舎

要望	可否	内容
採光のため窓を大きく	○	窓を特別に大きくすることは出来ませんが、窓が小さく、採光が少ないという作りにはなりません。
現園舎と保育室を同じ配置	×	全く同じ配置は不可能です。保育士の意見を聞きながら、保育しやすい環境に配慮して設計します。
保育室・トイレ・ホール・医務室・職員休憩室	○	現園舎と同等内容で設置しますが、現園舎より保育しやすい設計になっています。(保育室から直接使えるトイレなど) 園舎については、引き続き園長・保育士の意見を聞きながら詳細を決めていきます。
耐震性・土台をしっかり	○	耐震性には問題なく建設します。
平屋	○	平屋で建設します。
冷暖房設備	○	各保育室に設置します。
床暖房	×	現在のとよだ保育園にも設置されていないので、設置しません。
不審者対策	○	入口に自動施錠、モニター付きインターホン等を設置し、関係者以外は保育園内に入れないようにします。

## ③全体・その他

要望	可否	内容
駐車場・駐輪場から園舎までの舗装(雨の日のぬかるみ等の対策)	○	砂利等の簡易舗装で、ぬかるみ対策を行います。
駐輪場に屋根を設置	○	設置します。
ベビーカー置き場	○	確保します。場所や台数については確定していませんので、決まり次第お知らせします。
防災対策(川が近いた	○	台風や大雨による浅川の増水等を想定した避難計画をたて、防災体制を

め)		整えます。
蚊・蜂・へびなどの対策	○	現在も、感染症媒介予防のための消毒を実施していますので、同等内容で継続します。また、ハチの巣撤去費用も確保しています。
信号の設置	○	平成 28 年度中に設置することになりました。
交通量が多いため、登降園時間に保育士が立つなどの対応	○	状況を見て、必要であれば対応します
保育士・子どもの意見を聞くべき	○	とよだ保育園の保育士と話し合いの上、子どもの様子や意見についても取り入れていきます。

## (2) 仮設園舎移転時の送迎関係対応策

送迎関係の対応策については、仮設園舎へ移転する必要がある事を入園前に知らされていなかった方（平成 26 年度以前に入園の方）に対して実施するものですので、個別対応策（一日置いておける駐輪場やタクシー送迎など）は、平成 26 年度以前に入園した方のみを対象とさせていただきます。ただし、保育園の運営上、入園年度で個人ごとの管理が難しいもの（延長保育開始時間の変更等）については入園年度に関わらず全員の方を対象とします。

(※) 全…全クラス対象 26…26 年度以前に入園の方のみ対象

要望	可否	(※) 利用	内容
仮設園舎敷地内の送迎用駐車場・駐輪場の確保	○	全	仮設園舎敷地内に駐車場 10 台、駐輪場 10 台程度は確保できる見込みです。（駐車場は、一部隣接地になる可能性もあります。） 駐車場・駐輪場については昨年度実施したアンケートで利用希望をお伺いしましたが、今年度から入園された方も多いため、再度利用希望調査を行うように要望をいただきました。しかし、仮設園舎の保育期間は平成 29 年度ですので、今、利用希望調査を実施しても、平成 28 年度、平成 29 年度に入園される方の利用希望によっては、さらに状況が変わってくるものと考えられます。 とよだ保育園と同等規模の保育園（民間園含む）の現在の状況をみると、駐車場は 10 台程度あれば送迎のピーク時間以外は概ね利用できています。 （参考） 現とよだ保育園（定員 110 名） 4 台 たかはた台保育園（定員 110 名） 10 台 みさわ保育園（定員 115 名） 7 台 むこうじま保育園（定員 150 名） 10 台 仮設園舎の敷地は、区画整理中の土地を一時利用させていただいているものです。土地の利用には一定の制約がある中で、最大限確保できる駐車場台数として 10 台となります。
仮設園舎に置いておける駐車場（月極め）	×	—	昨年実施したアンケートでは、対象クラスでご希望される方がおりませんでしたので、現在は想定しておりません。
仮設園舎に置いておける駐輪場（月極め）	○	26	アンケートでは、希望者は 4 名程度でしたので、対応出来ます。
現とよだ保育園の駐輪場を引き続き使用	×	—	新園舎の建設開始から竣工までの期間は、駐輪場の使用は不可能となります。
現とよだ保育園の駐車場を引き続き使用	○	26	現在の駐車場については、新園開設まで引き続き借りますので使用可能です。駐輪場として使用することも考えられます。駐輪場として使用した場合、安全に駐車できる台数は 10 台程度です。
豊田駅前の駐輪場確保	×	—	豊田駅南口で駐輪できる場所を調査しましたが、公有地で適当な土地はありませんでした。民有地（月極め駐車場）についても複数の不動産会社に確認しましたが、現在空きがなく、確保できる場所はありませんで

			<p>した。平成 29 年度までに月極め駐車場に空きが出た場合は借りられる可能性もありますが、同一敷地内の駐車場で、ある程度まとまった台数を借りられない限り、駐輪場として使用することは管理上の問題（※）で難しい見込みですので、現在は確保できる状況にありません。</p> <p>（※）以下の問題があるため、貸主の合意が得られず、駐輪場としては使用できない可能性が非常に高い見込みです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場に複数台の自転車が出入りすることになり、駐車場内での事故が発生する懸念がある。</li> <li>・ 駐輪中の管理が出来ないため、風等により転倒した場合、周囲の車を傷つける恐れがあり、トラブルの原因になる。</li> </ul> <p>現とよだ保育園の駐車場のよう、駐車場内全てを貸切状態であれば、契約条項の追加・変更により、駐輪場として使用することが出来る可能性はあります。</p>
豊田駅前の駐車場確保	×	—	上記回答のとおりです。現在は確保できる状況ではありません。仮設園舎敷地内の駐車場で対応願います。
朝のタクシー（仮設園舎⇒豊田駅）	○	26	<p>朝 7 時に子どもを預けても、電車の時間に間に合わない方への対応策として実施させていただきます。</p> <p>対象となる方の基準は以下の通りです</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育時間を「朝 7 時から」と保育園に届け出ている方</li> <li>2. 現に朝 7 時に登園している方</li> </ol>
延長保育開始時間変更	○	全	延長保育開始は 1 8 時 1 5 分からとします。
お迎え終了時間	○	全	お迎えは遅くとも 1 9 時 1 5 分までに来てください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豊田駅⇄仮設園舎間の送迎バス</li> <li>・ 豊田駅前での預かり保育</li> </ul>	×	—	<p>説明会等でご要望いただきましたが、昨年度のアンケート時点では「実現ほぼ不可能」と分類し、アンケート選択肢から除外させていただいております。豊田駅と仮設園舎間の送迎バスは、バス 1 台でピストン運行した場合、1 0 分～1 5 分間隔で仮設園舎出発となりますので、駅まで徒歩 1 0 分程度であることを考えると実質的な利便性に乏しく、また、徒歩 1 0 分の距離でバスを運行させることは費用対効果の面で市民全体への理解は得られにくいと考えます。また、豊田駅前での預かり保育は、仮設園舎と預かり保育場所までの送迎バス借り上げ費用に加え、保育場所の借り上げ費用、保育士を配置する費用等が発生し、さらに困難であると考えます。</p>